





監事監査報告書

令和5年5月25日

社会福祉法人 大慈厚生事業会
理事長 松井 尚子 殿

監事  
監事  

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3 追記情報

《会計》

各拠点の経理担当者と直接面談のうえ、職務の執行状況、経理処理の方法、証憑書類の保存状況等について具体的な説明を受けるとともに、計算書類、付属明細書、財産目録について相互の関連性、処理の適正性について監査しました。

日々の処理及び計算書類の作成は社会福祉法人会計基準に準拠しており、適正であることを認めます。

本年度の監査の結果、次の点について新たな対応を検討するよう提言します。

1. インターネット環境の急速な進展を踏まえ、帳簿書類の電子化への対応の重要性がさらに高まっているとの認識のもとに、会計担当職員の対応能力が一定レベル以上の水準に到達し、その能力が共有できるよう、具体化に向けた取り組みをお願いします。
2. 大慈さくら保育園の資金収支は大慈智音園の普通預金口座を利用し、経理処理上の区分経理を行っていますが、サービス区分ごとの資金収支の明確化のため、大慈さくら保育園名義の預金口座を開設したうえで、独立して資金収支を経理すべきであると思料します。

本年度の監査を通じ、改めて経理担当職員の職務に対する真摯な姿勢と、高度な経理処理能力に接することができました。

経理担当職員に敬意を表するとともに、インターネット社会にも対応できる高度な処理能力、書類作成能力が維持されるよう、今後も引き続き努力されるようお願いいたします。

《処遇》

・ 高齢者部門

令和3年度に引き続き、昨年もコロナ感染症への対応が不可避であり、大変ご苦労されたことが推察されます。そんな中であっても、ゲストのQOL向上の為に、様々な工夫を重ねた企画を考え、利用者満足のために努力されている様が伝わってきました。また、多くの意見や苦情に対し、一つ一つ丁寧かつ真摯に解決しようとされている姿勢に感銘を受けました。

・ 教育保育部門

コロナ禍であっても、工夫を重ねた「出来る行事」を考えて実施されており、素晴らしいと思います。また、「ヒヤリハット」について力を入れて取り組まれており、件数も多く上がっていることから、事故を未然に防ぐ努力が見えます。

新規事業のおやこふらっとひろば中央では、多くの方が利用され、法人が地域の子育て支援事業に積極的に関わり、地域貢献が出来る事業の運営に尽力されている取り組みが、素晴らしいと思います。